

シリーズ「きょうだいの思い」 45

結婚
～結婚式の後に～



式が終わった後の写真撮影の時間に、ヘルパーさんに弟を連れて来てもらった。少し遅れて現れた弟は「オカアサン、アイロン！」と手振りをして、母の隣りに着席した。当時、弟はアイロンがけにこだわっていた。だから、自分が着ているカッターシャツにアイロンをかけたいという意味で、この言葉が出てきたのだろうと思う。

ドキドキして弟を待っていた私は、弟の表情が穏やかだったので安心した。私の友人はともかく、彼の友人は弟のことを知らないし、彼の家族も初対面の場所である。もし弟が落ち着かない状態だったら...式場の他の人にも迷惑がかかるのでは...と心配していたが、当日は文句のつけようがない程に弟は落ち着いていた。

写真撮影が終わって、弟は私に見向きもせずサッサとヘルパーさんの近くへ歩いて行った(笑) 追いかけて弟のそばに寄ると、普段とは全く違う私の姿に少し照れ臭そうな顔をしたように見えた。

その後、彼と弟と3人で写真を撮り、友人達が一斉に向けるカメラに弟の表情が少しこわばっていたが、この場面でも穏やかに(おとなしく)過ごすことが出来た。心中、私は「この穏やかさが、弟がくれる結婚祝やなあ」なんて思っていた(笑)

この日を境に『お姉ちゃんがない家』になったが、弟が特に混乱することはなかったと母から聞いた。

10代の頃、単身赴任だった父が毎週月曜日の早朝に帰って来て、火曜日の昼に赴任先へ向かう生活を送っていた。ある時、違う曜日の早朝に父が帰って来ると、弟は激しく「オトウサン、サヨナラ！サヨナラ！」と父を追い返すかのように言ったことがある。

自閉症の弟は、定着していることや決まったことからの変化に混乱して、簡単には順応できない。私の結婚で、家族が困るような混乱もなく、何度か「オネエちゃん？」と確認するかのように言うだけだと、母から聞いた。

結婚式の後、写真撮影をして、そこには見慣れない格好をした私と彼がいて、この一日で何か肌で感じる場所があって、弟は『お姉ちゃんがない家』を

前穂通信

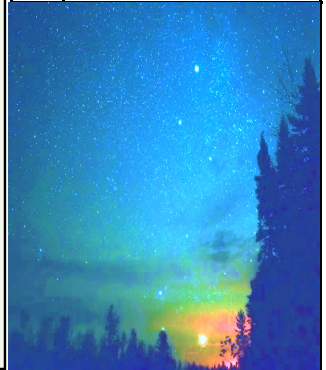
まえほつうしん

発行日

2016年7月1日

発行元

自立センター前穂
〒569-1022
高槻市日吉台
1番町21-18
072-689-8600



高槻市集団指導に参加して

6月13日(月)に高槻市生涯学習センターにおいて高槻市集団指導に参加して参りました。虐待防止対策、労働基準法についての説明を受け、今後とも法令遵守のもと、より良いサービスを提供できるよう、心がけて参ります。

食事のご紹介・朝食の改善について



前穂では、昼食と夕食には宅配クック123のお弁当をご提供しております。「大刻み」、「小刻み」、「カロリー弁当」など、ゲストの皆様にあった内容のお弁当をお出ししております。バランスのとれたお弁当は楽しみにされている方も多く、いつも賑やかに食事を楽しまれております。

また、今迄、朝食で使っておりましたマーガリンをバターに切り替えました。マーガリンの成分の諸説を鑑み、バターへ変更致しました。前穂では今後も、最新の情報を取り入れ、安心・安全な事業所を目指して参ります。